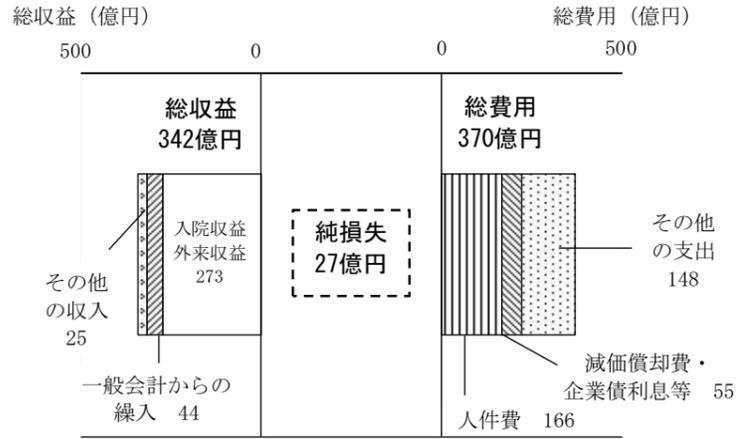


令和元年度公営企業決算審査意見書の概要

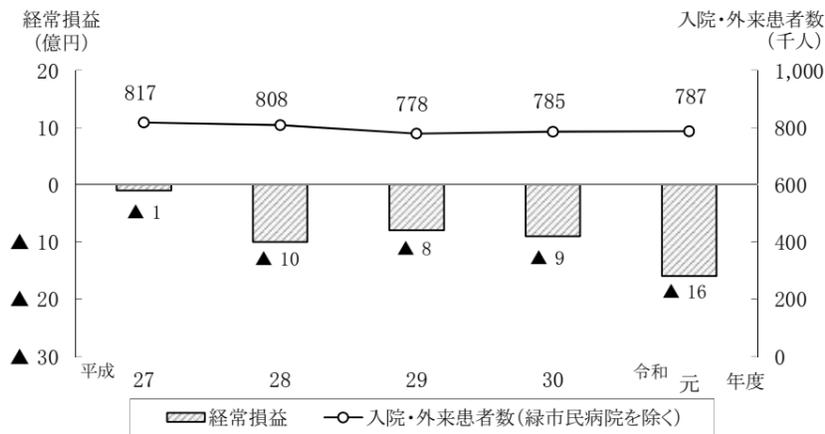
◎ 病院事業

(1) 総収益・総費用の構成内訳 (意見書 3 ページ)



※グラフの数値は単位未満を切り捨てて表示した (以下同じ)。

(2) 経常損益及び入院・外来患者数の推移 (意見書 4 ページ)



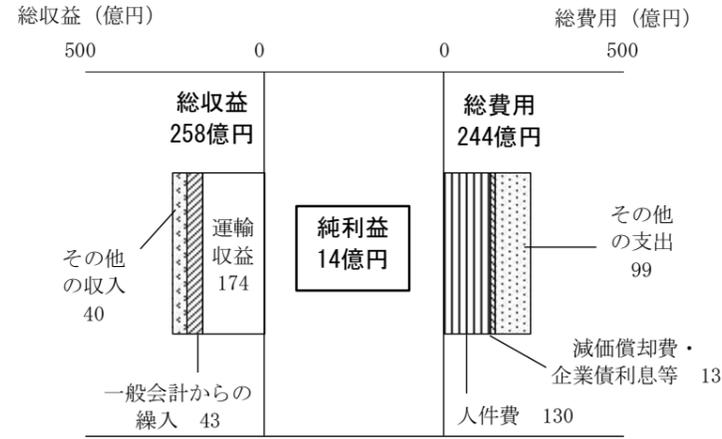
(3) 意見の要旨 (意見書 90 ページ)

「名古屋市立病院改革プラン 2017」における成果指標の目標と当年度の実績を見ると、63 項目のうち約 7 割が目標を下回っている状況にある。多額の未処理欠損金を減少させるためにも、全ての成果指標において目標を上回るよう経営改善に努められたい。

また、大学病院化による医療提供体制の強化や経営の効率化を通じて安定的な経営基盤を確立し、市民の医療ニーズに応じた、よりの確かつ最高水準の医療を継続的に提供できるよう、移行に向けた準備を遺漏なく進められたい。

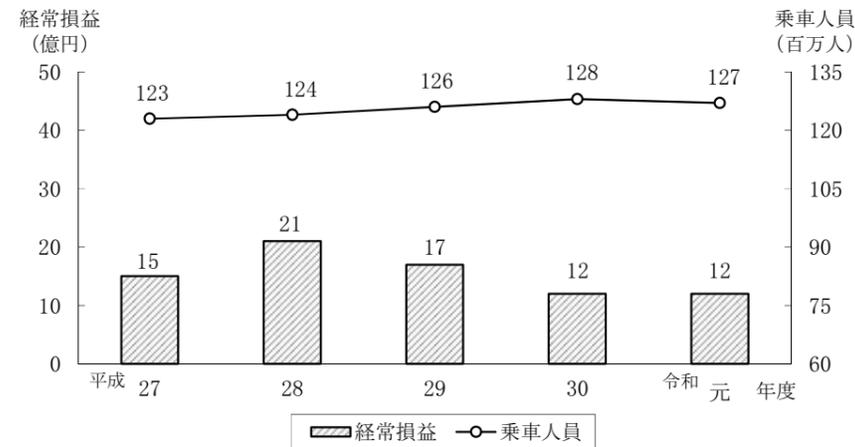
◎ 自動車運送事業

(1) 総収益・総費用の構成内訳 (意見書 3 ページ)



※運輸収益には、一般会計からの敬老バス等負担金 (当年度分) を含む。

(2) 経常損益及び乗車人員の推移 (意見書 9 ページ)



(3) 意見の要旨 (意見書 92 ページ)

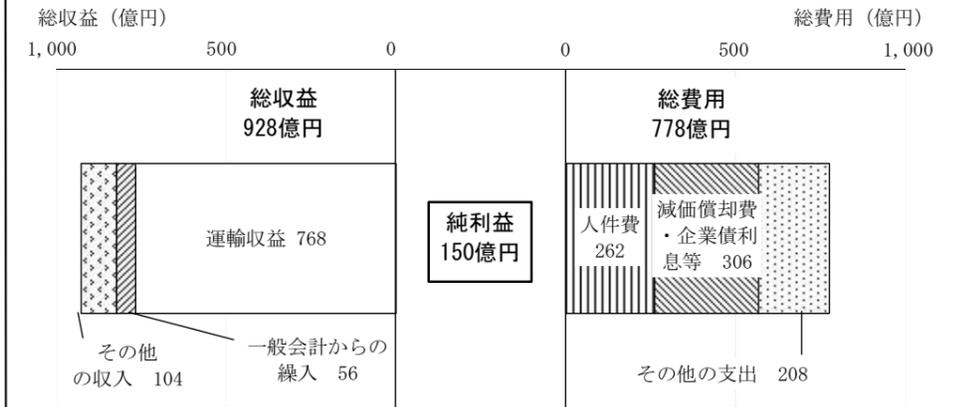
累積欠損金を「名古屋市営交通事業経営計画 2023」の目標を上回って縮減していくためには、今後も安定して純利益を計上していく必要がある。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により厳しい経営環境が見込まれるほか、将来的には人口減少により乗車人員が減少することが懸念される。

市バス営業所の管理委託も含め民間活力の活用を図るなど、より効率的な経営のあり方について検討を進められたい。

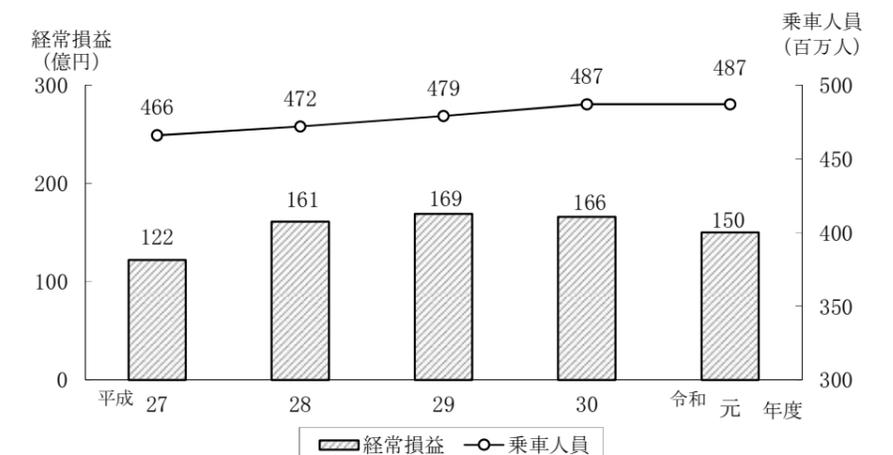
◎ 高速度鉄道事業

(1) 総収益・総費用の構成内訳 (意見書 3 ページ)



※運輸収益には、一般会計からの敬老バス等負担金 (当年度分) を含む。

(2) 経常損益及び乗車人員の推移 (意見書 10 ページ)



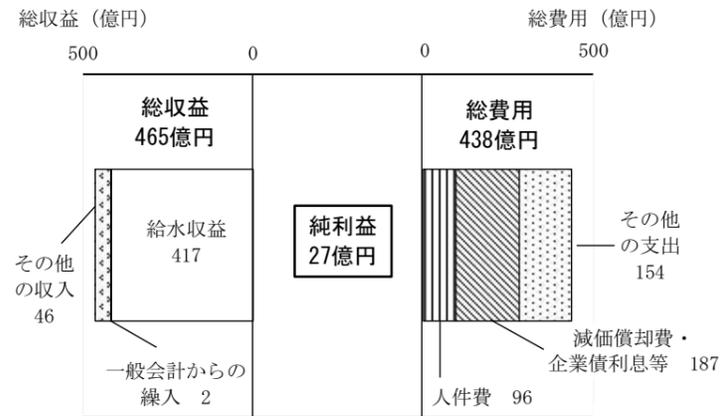
(3) 意見の要旨 (意見書 92 ページ)

地下鉄のワンマン運転化の拡大を図るなど、より効率的な経営のあり方について検討を進められたい。

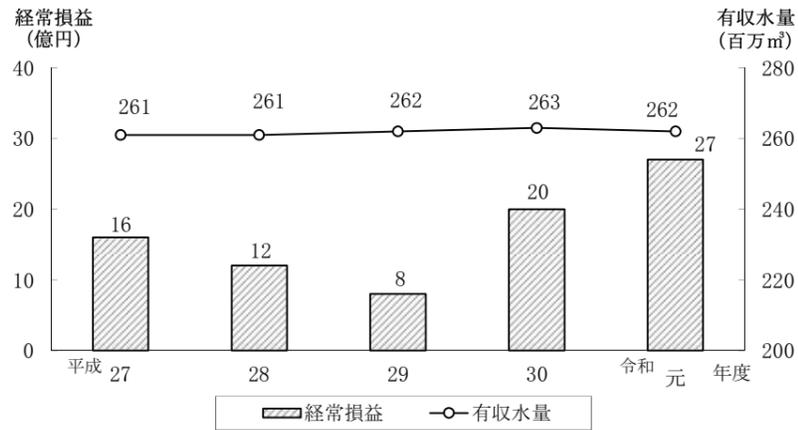
また、当年度は名城線・名港線において可動式ホーム柵の整備や旅客案内装置の更新をするなど、乗客の安全を確保するとともに快適さや便利さを高める取組みを進めたところである。今後は、令和 8 年度までの完成を目標としている鶴舞線の可動式ホーム柵の整備を着実に進め、安全・安心な運行の確保に努められたい。

◎ 水道事業

(1) 総収益・総費用の構成内訳 (意見書 3 ページ)



(2) 経常損益及び有収水量の推移 (意見書 6 ページ)



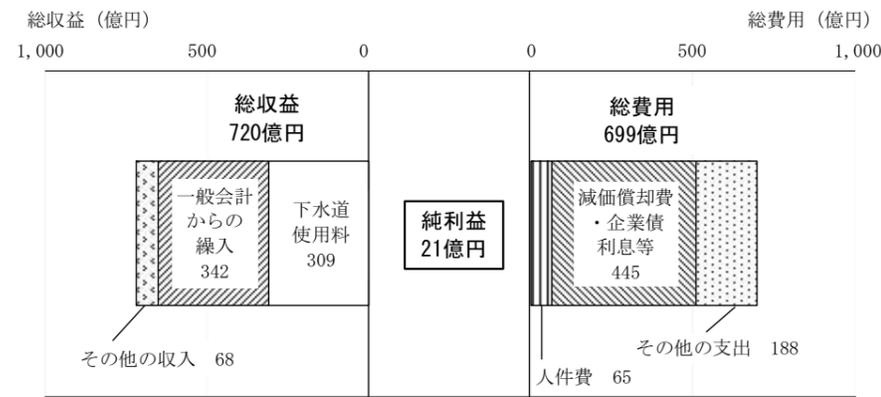
(3) 意見の要旨 (意見書 91 ページ)

近年国内において、令和元年房総半島台風や令和 2 年 7 月豪雨など相次ぐ自然災害によって断水が発生しており、災害時における飲料水の確保の重要性が改めて示されたところである。

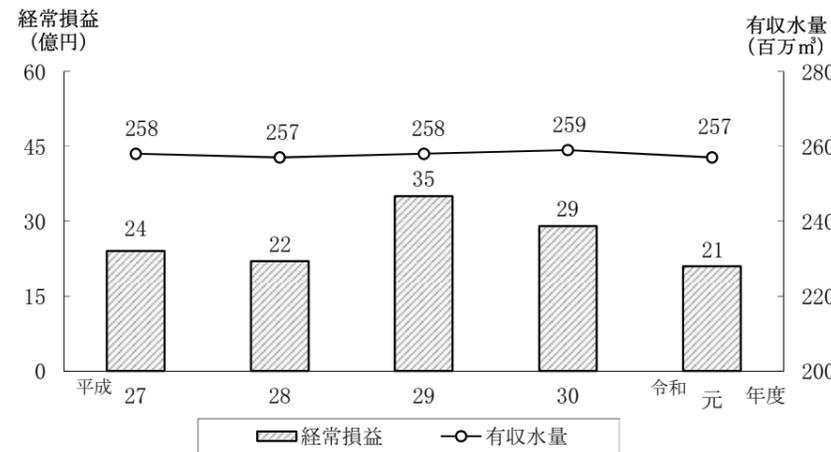
持続可能で災害に強い施設整備や災害対応力の強化をはじめ、「経営プラン 2028」に掲げられた各事業の年次計画に遅れが生じることのないよう進捗管理に努め、災害時においても安定的に水道水を供給できる体制を構築されたい。

◎ 下水道事業

(1) 総収益・総費用の構成内訳 (意見書 3 ページ)



(2) 経常損益及び有収水量の推移 (意見書 8 ページ)



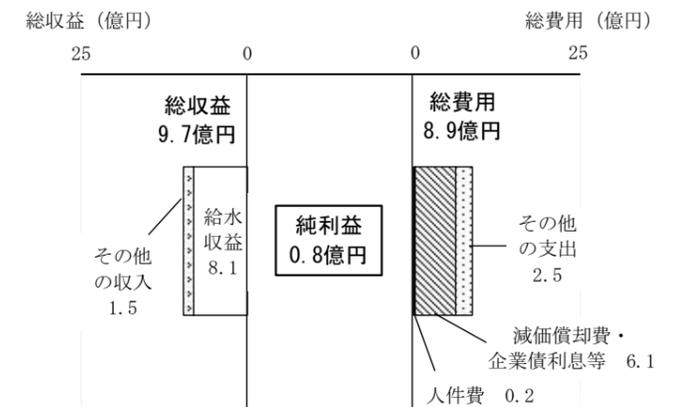
(3) 意見の要旨 (意見書 91 ページ)

持続可能で災害に強い施設整備を進めるにあたっては、国の補助制度も活用しながら、安全かつ慎重な施工に万全を期した上で、事業の早期執行に努められたい。

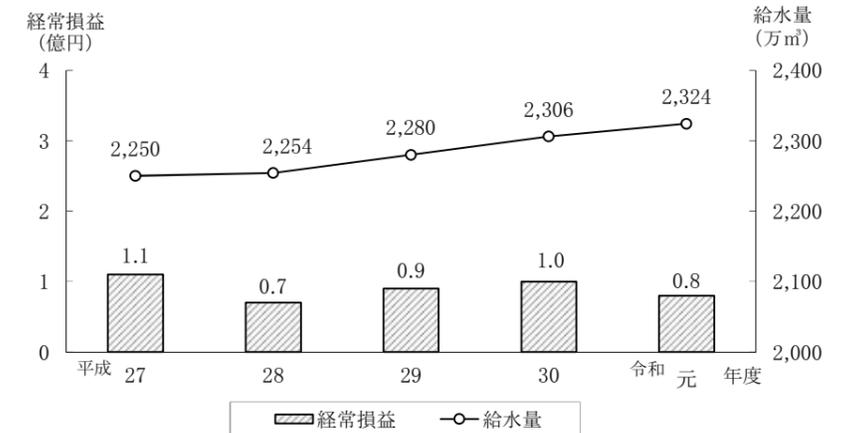
また、今後、人口が減少に転じることに伴い、使用料収入の減少による経営の悪化や、事業を担う人材の不足も想定される。コンセッション方式などの PPP / PFI 手法も含め、多様な官民連携手法の導入について調査・研究を進め、より効率的な業務執行体制について検討されたい。

◎ 工業用水道事業

(1) 総収益・総費用の構成内訳 (意見書 3 ページ)



(2) 経常損益及び給水量の推移 (意見書 7 ページ)



(3) 給水量及び給水事業所の状況

